

THE Y'S MEN'S CLUB OF NASU

NETWORK NASU

CHARTERED 1995



那須ワイズメンズクラブ

2024～2025年度 No.303

3 月報

那須クラブ会長 主題

ユースと共にミッションを



強調月間：CS・Green P.
ワイズメネット

今月の聖句 詩編 121：1～2

目を上げて、わたしは山々を仰ぐ。わたしの助けは、どこから来るのか。わたしの助けは来る、天地を造られた主のもとから。

3月第1例会（張さんの送別会）

日時：3月8日（土）午前11時30分～1時30分

場所：中華料理 龍鳳園 那須塩原市西大和1-7

電話 0287-36-1202

内容：那須ワイズに入会されて、ご活躍いただきました、張 ウェリさんが台湾に帰られることになりました。今までのご活躍に感謝するとともに、これからの健康とご活躍を祈念して、送別会を開催することにいたしました。そして、田村会長の退院を祝すともにご家族のお疲れを癒す会とします

司会 原田 明子 メン

開会点鐘・挨拶

会長 田村 修也

ワイズソング斉唱・ワイズの信条の斉唱

聖書朗読・祈祷

副会長 村田 榮

会食 歓談・懇談

報告事項

YMCA・ワイズ

YMCAの歌

閉会挨拶・点鐘

会長 田村 修也

会費 メン・メネット 3,000円

ご参加いただける方は、3月6日（木）までに村田まで連絡をください。

2024～2025年度 主題

国際会長：(IP) A・シャナヴァスカーン (インド)

「より良い世界のために、共に」

アジア太平洋地域会長：(AP) ジョウン・ウォン (香港)

「大きなインパクトを起こそう」

東日本区理事：(RD) 山田 公平 (宇都宮)

「ワイズの方向性を見極める」

北東部長：大久保 知宏 (宇都宮)

「戦略2032を意識して」

クラブ役員

会長：田村 修也

副会長：村田 榮

書記：藤生 強

会計：村田 榮・鈴木 保江

担当主事：塩澤 達俊

ブリテン：田村 修也・村田 榮

2月例会データ（出席率：71.4%）

メンバー4名、メネット3名、ゲスト2名、ユースリーダー14名、YMCAスタッフ1名
メイキャップ1名

3月 Happy Birthday

3/13 田村 修也メン

CS 公開講演会 知っていて安心介護保険と施設の話

日時：4月12日（土）午後2時～

場所：日本基督教団西那須野教会

4月第2例会（役員会）

日時：3月28日（金）午後4時30分～

場所：田村会長宅

東日本区CS事業委員会

日時：3月16日（日）午8時～

場所：ZOOMでの参加

巻 頭 言

田村 修也

植樹活動事始め

森林法という法律があります。森林の保続培養と森林生産力を増強して、国土の保全と国民経済の発展を目的としています。その中に保安林として森林の公益的機能が記されています。水源のかん養、土砂流出の防止、土砂崩壊の防止、飛砂の防止、風害、水害、潮害、干害、雪害又は霧害の防止、なだれ落石の防備、火災の防備、魚つき、航行目標の保存、公衆の保険、名所旧跡の風致保存です。森林は生きいと生けるものの母と言えるでしょう。

私は栃木県庁の林務部で林業技術者として民有林の林業行政に携わってきました。その関係で国有林との関係も深く、県内の営林署長さんたちとの事業調整や諸会議を通して親しい関係にありました。その様な関係上国有林が特別会計から一般会計に移行するに当たって、地域に開かれた活動が始められることになりました。その一環として塩原大沼周辺のヒノキ林伐採跡地の自然林造成活動が始められました。那須ワイズが植樹活動を始めることになったのは、この事業に参加することになったからです。

当初は参加する団体が、クリ、クヌギ、コナラ、ケヤキ等の広葉樹の苗を持ち寄って植栽することになっていました。苗木を作るために、ドングリを拾ってきてそれを蒔いて苗を育てたり、雑木林に行って稚樹を採取したりして準備しました。未売分譲地のコンクリート側溝には、落葉が堆積して腐葉土となり、そこへドングリが落ちて発芽し、その苗は根を痛めることなく採取出れました。前会長の屋敷にはその時種を蒔いて育てた苗が成長して、大きく成長しています。私の家では当時の苗が育って大きくなって隣家に迷惑が掛かるようになったので、伐採してしまいました。

最初の植樹例会は2005年の5月でした。標高が600メートル以上ある塩原の大沼周辺はまだ残雪があり水芭蕉が咲いていました。記録写真には、ワイズは勿論那須Yのリーダーも10名以上、教会の会員、その中に昨年召された東京Yの理事で、元ICUの名誉教授であった丹羽芳雄さんほか、呼びかけた地域団体の方々が写っています。

3年目は大学の教授の指導で、種の保存のためその周辺森林からの苗木を植栽することになり、営林署の意向で植栽地を那須街道の赤松林に変更し、後継樹の植付を行なう事になりました。それ以来、マツクイムシ被害や強風等による被害地の植栽が続けられています。

植え付ける苗木の育て方も変遷してきました。初めは種を蒔いて育てた苗木、次いでポット苗木、数年前からはコンテナ苗になりました。コップ状のポットで育てられた苗で、苗木はしっかりと根を張り、乾燥にも対応できる苗で、枯損率が低く、殆ど100%活着しますので、誰でも安心して植えることができます。最近の新聞には「町内の小学生の卒業記念に植樹」が載っていました。

今年も5月には森林管理署の指導で、新たな場所に植栽をする計画です。この活動も20年続くこととなります。自然に親しむため、自然環境を保全するため、美しい松の並木を守るため、多くの地域団体等に呼びかけて、これからも植林活動を続けていきたいと願っています。



2月例会（ユースリーダー報告会）於：日本基督教団西那須野教会 2025.2.23

2月例会(ユースリーダー活動報告)報告

日時：2025年2月23日(日) 午後4時30分～7時15分

場所：日本キリスト教団 西那須野教会

出席者：田村、村田、藤生、原田の各メン、田村、藤生、村田の各メネット、ゲスト：潘牧師ご夫妻、ユースリーダー14名、YMCAスタッフ武田主事、計24名

「ユースリーダー活動報告」をテーマに、那須YMCAユースボランティアリーダー14名をゲストに迎え、「ユースボランティアリーダーズフォーラム」(以下YVLF)と「全国YMCAリーダー研修会」(以下全L研)の報告会を行いました。



初めに武田とちぎYスタッフより、那須Yリーダー会の活動報告が行われま

した。新入生リーダー歓迎キャンプ(キャンプ体験)、とちぎYグループ活動、シーズンキャンプ、サッカーフェスティバルなどの様子が報告されました。またリーダー交流を目的としたソフトボール大会、YMCAバザー参加なども報告されました。子どもたちとの活動はリーダーにとって多くの経験・体験を得ることが出来、また子どもたちにとってもお兄さんお姉さんとの関りは数年後の自分の目標になると、報告がされました。



次に「つな、リーダーより、YVLFへの参加報告が行われました。YVLFはワイズが主

催する「経験の浅いリーダーのための交流会」であり、2024年度は9月の2泊3日(会場：東京YMCA山中湖センター)にて行われました。『不登校』をテーマの基調講演を受けて話し合いがなされ、つなリーダーが所属したグループは「不登校は「無気力、」がその要因の一つでないか」と意見が出され、無気力を改善していくための方策を話し合ったそうです。YVLFは「話して、考えて、他者の意見を聞く」体験をする場であり、つなリーダーも「1つのテーマについて深く考えることがなかったので、とても良い経験になった。他YMCAリーダーとの話し合い・交流はとても刺激になった」と感想がありました。

続いて「せつぷう、リーダーと「めんま、リーダーより、全L研への参加報告が行われました。全L研はYMCAが主催する「経験豊かなリーダーのため

の研修会」であり、2024年度は5月に2泊3日(会場：岩手県岩手山青少年交流の家)にて行われました。全国から100名を超えるリーダーやスタッフの参加があったようで、『前途洋々～可能性は無限大～』をテーマに研修は行われ、初日の「ワールドカフェ」活動では『理想のリーダー像』について話し合いを行ったそうです。2日目には選択式「ワークショップ」、全体プログラム「フィールドワーク」、「キャンプソングナイト」、「ナイトウォーク&キャンプファイヤー」、3日目には研修グループで遊びを考え発表する「屋台村」が行われ、『未来を担う(理想の)リーダー』になるべく、多くの気付きを得た3日間となったようでした。



報告の後、今春卒業する(大学を卒業し、社会人となる)リーダー7名へ記念品贈呈を行いました。彼らは

「那須、に残らず、自身の地元や首都圏などへ移るようですが、リーダーでの体験・経験を生かして『未来を担うリーダー』へ成長するよう願っています。ユースボランティアリーダーの成長に喜びを感じ、ワイズとして今後も少しでも力になればと、感じました。

第2例会(役員会)報告

日時：2月26日(水) 午後4時30分から

場所：田村会長宅

出席者：田村、村田各メン、田村、村田メネット

1. 3月例会は、3月8日(土)午前11時30分から開催する。

張さんの送別会とする。会場予約は、田村会長に依頼。中華料理 龍鳳園(那須塩原市西大和1-7)河野さんと中村さんに案内をする。

2. 4月例会について 高齢者の福祉についてお話を聞く。日時については、田村会長が講師と相談をして決める。

3. 5月例会は、植樹例会とし、塩那管理署と相談をする。担当は、村田。

4. 次期役員体制について、田村会長の体調を考慮して、村田が会長、副会長を田村さんに依頼。

開拓と信仰の姿「開拓と西那須野教会」-(5)

会長 田村 修也

次に、初代田嶋弥三郎についてお話をさせて頂きます

す。

天保7年(1836)~明治16年(1883) 弥三郎は田嶋家の分家で、第4代田嶋弥四郎家に生まれました。明治5年(1872)には、36歳で島村の戸長となりました。

この年、田嶋武平、田嶋善平等と共に、島村蚕種の計画生産、共同販売を進める為に島村勧業会社の設立に参加しております。

明治10年8月には、全国蚕糸会議局に群馬県選出委員として選出されて上京し、内務省勧業局に勤務しましたが、10月には病の為に辞任して島村に帰っています。この時の上司の取締役は尾高淳忠で、尾高は渋沢栄一の従兄弟に当たります。政府が富岡製糸場をお雇い外人フランス人ポール・ブリューナーの指導で建設した際には、資材調達等の責任者として従事して、完成後は初代場長となった人であります。

明治12年12月には、島村勧業会社から蚕種売捌きの為、田嶋善平、田嶋弥平等と共に、初めての試みとしてイタリヤに派遣され、米国汽船ベルジック号で横浜を出航し、アメリカ経由でイタリヤに向かいました。12月25日には太平洋上で初めてクリスマスに会っています。航海日誌によれば「本日は耶蘇誕生日なりと」ぐらいで、特に感じた風もありませんでした。

明治13年2月に、横浜出航以来52日を経てイタリヤ・ミラノ市に到着しました。同市内のナルビア・フレラ20番地に売捌所を開設して、持参した蚕種5万枚の売捌きに取り組み、好成績を収めて、7月16日に島村に無事帰ってきました。村民の大歓迎を受けております。

明治13年11月には、田嶋武平と再度渡航する為に島村を出発しました。この度はフランス汽船ブルガ号に乗船して、インド洋経由でミラノ市に向かいました。洋上では再度クリスマスに会っています。航海日誌に「船上多彩な催しあり」と記されていて、今度は少し興味を覚えた様であります。

明治14年1月にミラノ市に到着して、持参した蚕種5万6千6百枚の売捌きに努めましたが、結果は売行き不振で、2万枚を焼却処分して、7月に島村に帰っております。明治16年8月に病の為に永眠いたしました。享年48歳。晴浮と号して俳諧をよくした方だったそうです。(次号へ続く)

「人間が世界の調和を崩すと

森は大きな犠牲を払って

それをとりもどします」

(風の谷のナウシカ 宮崎駿)

『風の谷のナウシカ』(コミックワイド版)を読み終えました。

7年前に、当時茨城女子短期大学准教授の角田政昭先生が、インクルーシブ教育の視察にいらした時、以前本園の新採教諭の研修でアニメ『風の谷のナウシカ』を観ていた話になり、先生からコミックを紹介されました。

この7年間で先生は、相模女子大学教育学科教授・認定こども園園長に就任され、昨年10月発行の保育専門誌『Pr i P r i』(世界文化社)に、「インクルージョン・コミュニティ」特集のなかで、先行事例として、本園の取り組みを4ページに渡って紹介して下さいました。

私はすぐにコミックを購入したものの、積ん読状態が続いていました。角田先生への応答ではありませんが、年末からようやく7年越しに7巻走り読みしました。

この物語には、マスクをしないと生きられない「腐海」のなかで、「自然」・「人間」・「文明(過去・現在)」と大きなテーマがあります。アニメのクシャナ女王の「トルメキア王国」だけでなく「土鬼(ドルク)」帝国の世界戦に、「風の谷」やその他の地域も巻き込まれていく、よみがえった巨神兵はナウシカを「ママ」と慕います。しかも、蟲使いと共に歩む「ナウシカ」は、アニメの「その者青き衣をまといて、金色の野に降り立つべし」という救世者のヒロインでもない設定の入り込んだ難解さも、読み進めなかった理由です。

まだ、読み込んでいない私ですが、感じたことは、「腐海」ではありませんが、13年前東電の原発事故の当日に全園児に備蓄マスクをして降園させ、その後しばらくマスク生活が続いた事です。次に思い浮かんだのは、コロナ禍のマスク生活でした。

戦争では、ウクライナ侵攻、ガザでの虐殺に多くの国や人々が巻き込まれていく現状を感じます。また、人格はなくモノ扱いされていた臭い「蟲使い」、よみがえったものの不完全で体の一部が朽ちてドロドロと融け落ちていく「巨神兵」と共に歩んだナウシカは、イエスが差別されて当然とされていた人々と共に歩まれた生き様のようで、共感する場面もありました。

このコミック版は、1982年から94年までの連載ですが、このVUCAの時代を予言していたかのようです。

西那須野幼稚園だより

学校法人 西那須野学園

西那須野幼稚園

園長・理事長 福本 光夫

そして、最後は「さあ みんな 出発しましょう
どんなに苦しくとも」というナウシカのことばと、
多分みんなの決意かと推察できる「生きねば……
……」ということばで締めくくられています。この
ことばは、子ども達、そして私たちがこの混沌とし
た社会をより善く生き抜く為の応援歌のように感じ
ました。

聖園那須老人ホームたより

社会福祉法人 イースタービレッジ
那須聖園老人ホーム
施設長 薄井 高宏

春の陽気と冬の寒さのせめぎあう今日この頃、皆
様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。

令和6年度も押し迫り、慌ただしい日々が続いて
おります。政界も連日來年度に向けての審議がほぼ
終わりを告げて新制度の交付や施行の準備が慌ただ
しくなってきました。現時点では、ガソリンの
減税は、年度初めからは行われない様子です。燃料
は輸送や製品を作る上で欠かせない物ですので、物
価高騰の一躍を担っていると思いますが、私共の施
設にとっても大変な痛手となっています。しかし、
大きな企業は、そこに対応するために給与改定の大幅
増を行っています。今年のベースアップは、30
年ぶりの大幅増（約4%）になるそうです。一方、
私の家系は代々農業を生業としていますが、近々廃
業する予定です。これは、私が今後農業を継ぐには、
あまりにも収入が低く、継ぐ事が出来ない為です。
物の値段がこれ程上がっているのに生産者の収入が
増えないどころか経費のみ上がり続けて廃業せざる
を負えないのが現状です。輸送コスト、販売の人件
費、物価高騰による経費が掛かり、物の値段が上が
りましたが、生産者（特に農業者）の収入は上げて
いないどころか減っていつているのです。日本食の
評価が世界的に認められている中で、生産者がどん
どん減っています。日本の食は全て世界からの輸入
に頼るのでしょうか。私達は世界の輸入作物の質で
我慢できるのでしょうか。日本の今後に一抹の不安
を憶えてなりません。

新しい施設に建替わるにあたり

聖園那須老人ホームでは、新しく個人契約入所を
開始したいと思っております。この制度は、生活にお困り
の方々に住宅を供給する観点からのサービスで、措
置入所で必要な条件や入所判定委員会の意見、市町
の決定がなくても施設と入所を希望する方との契約
で入所できるサービスです。契約にもいくつかの条
件や料金の違い、サービスにも違いがありますので、
ご興味のある方は、お問い合わせください。

また、新築にあたり、ご寄付も募っております。
タオル寄付のお願い

聖園那須老人ホームでは、入所者の方々が生活
する中で、様々な場面で使い切りの布（タオル）を
使用しています。つきましては、皆様には、タオル
の寄付をこれまで同様お願いできれば幸いです。

- ・新品、未使用、使用後は問いません。
- ・ハンドタオル、フェイスタオル、バスタオル、タ
オルケット等大きさも問いません。
- ・御年賀やご挨拶で頂いた物、未開封、開封後等問
いしません。
- ・切断や洗濯、消毒はこちらで行います。

YMCAだより

3月はお別れと新しい出会いが交錯するときです。
YMCAも、これまでと、これからに思い馳せる時
となりました。

◇Mr. ワイズ 十河弘さん逝く

十河弘（そごうひろし）さん（とちぎYMCA会員、
とちぎYMCA名誉理事、宇都宮ワイズメンズクラ
ブ）は、長らく病氣療養中でらっしゃいましたが去
る3月3日心不全のため享年90歳で永眠されました。
とちぎYMCA（旧宇都宮YMCA）を創設
され、YMCAで世界初の高齢者施設マイホームき
よはら建築募金活動で1億円を先頭に立って集め、
ワイズのエルマークロウ国際賞などを受賞され、と
ちぎYMCAの大切な恩人です。神の御許に召され
ました十河さんに、心からの感謝ととこしえのご平
安をお祈り申し上げます。

十河さん：1935年香川県生まれ、1954年日
基教団徳島兄弟教会にて受洗、徳島大学工学部在学
中に徳島大学YMCA活動、1957年富士重工業
入社、宇都宮市在住、1977年宇都宮YMCA（現
とちぎYMCA）設立メンバー、とちぎYMCA各
法人理事、学校法理事長など歴任。

◇グローバル・スタディーキャンプ（フィリピン）
再開！

2025 グローバルスタディキャンプ in フィリピン
フィリピンの若者と共に考え、共に学ぶ



2025 グローバルスタディキャンプ 参加者募集中！

- 日 程 2025年8月7日（木）～14日（木）（7泊8日）
- 申込み締切 2025年4月30日（水）
- 対 象 15歳以上の男女で国際交流・協力に関心があり、心身ともに健康で協働
性のある者
- 費 用 事前研修・事後報告会に出席できる者
（一般）190,000円（プログラム費 100,000円・旅行代金 90,000円）
（学生）150,000円（プログラム費 60,000円・旅行代金 90,000円）

とちぎYMCAの国際部では、コロナ前まで行って

ましたフィリピンキャンプを5年ぶりに再開することになりました。2月にキャンプ地の下見とパートナーとの打ち合わせを行い、ユースにとって大きな学びがあるキャンプになる予定です。

このキャンプには西那須野幼稚園の福本先生が毎回ロータリークラブを通して養徳園の青年を1名派遣してくださっています。

ぜひ！皆さまの周りでご興味の方あればご案内をよろしく願いいたします。

卒業ユースリーダーのつぶやき

①本名（リーダー名）

②学校学部学科

③YMCAで思い出に残った活動とひとこと

①長瀬遥香（おむ）

②国際医療福祉大学保健医療学部視機能療法学科

③一番思い出に残った活動は野外炊飯です。小学生の頃に一度だけ経験しましたが、それ以来機会がありませんでした。最初は火の起こし方も分からず大変でしたが、子どもたちやリーダーと協力しながら進めるうちに慣れていき、料理の楽しさを実感しました。みんなで作った食事は格別で、とても楽しい時間を過ごせました。

①渡辺航平（こーちゃん）

②国際医療福祉大学保健医療学部放射線・情報科学科

③すべての活動が思い出に残っていて、ひとつには決められないです。今振り返ると、大学生活で1番充実していたのはYMCAに熱中していた時期だったなと思います。そんな環境を提供していただいたYMCAの方々、そこで関わった多くの方々に感謝です。ありがとうございました。

①塩畑友梨（ちえり）

②国際医療福祉大学保健医療学部看護学科

③私は初めて参加したさしまチャレンジキャンプが思い出に残っています。日帰りの活動とは違い、寝食を通して子供達と共にたくさんのチャレンジをしました。活動を通して「リーダーの考えたこと」が子供たちの「楽しい」に繋がる喜びを感じることができました。

①矢部将吾（ちょん）

②国際医療福祉大学放射線・情報科学科

③YMCAの活動の中では、夏季シーズンの日光キャンプが印象に残っています。トンボなどの虫が飛び交う自然豊かな場所で、ゆったりと流れる時間を子供達と共有したのはとても良い思い出です。デジタル化が進む世の中で、子供達が敢えて不便を楽しむ経験をする場になれば良いと思います。

①河内璃子（ぴか）

②国際医療福祉大学保健医療学部 視機能療法学科

③思い出に残っている活動は、私が初めてプログラムリーダーを務めた「絵付け体験」です。なるべくTTに沿った行動ができるように、また参加しているみんなが怪我なく楽しい思い出を作れるようにがんばりました！

①橋本幸歩（ほっぺい）

②国際医療福祉大学保険医療学部放射線・情報科学科

③思い出に残った活動は、磐梯シュプールスキーキャンプです。自分の経験を活かし、子どもたちにスキーの楽しさを伝えられるのがとても楽しかったです。最初は転ぶ回数が多くうまく滑れなかった子が、笑顔でスイスイ滑れるようになった姿を見られてとても嬉しかったです。

①吉田彩菜（みるく）

②国際医療福祉大学 保健医療学部 視機能療法学科

③私がいちばん思い出に残っている活動は、大学1年の3月に行った那須動物王国でのプログラムです。初めてプロリをした活動で、上手くいかないことも多くありましたが、無事に楽しく活動を終えられたときの達成感は強く印象に残っています。

①吉田愛理（よっし〜）

②国際医療福祉大学保健医療学部言語聴覚学科

③この4年間で子どもたちとたくさん触れ合って活動することで、私自身も成長することが出来ました。特に1泊2日のキャンプは子どもたちの気持ちをより理解できた深い時間になりました。ワイズのみなさんにも大変お世話になりました。ありがとうございました！

編集後記

・ブリテンの発行は、その月の例会までに発行することが原則です。原稿をお願いしている立場としては、お忙しい方々ですので、無理も言えないので、遅れてしまいます。

・宇都宮で行われる、第28回東日本区大会に参加しよう！

第28回 ワイズメンズ国際協会東日本区大会

宇都宮大会 2025年6月7日(土)

於:ライトキューブ宇都宮(JR宇都宮駅直結)

大会テーマ

ユース・エンパワーメントの実現

Y's×SDGs Youth Action



ライトレールに乗りに来らっせ!

餃子とクラフトビールの夜!

大会プログラム(概略)

6月6日(金)

08:00 理事杯争奪ゴルフ大会(サンヒルズカントリークラブ)

19:00 前夜祭

6月7日(土)

10:00 代議員会 (メネット・担当主事・ユース 同時開催)

12:00 入場開始

12:30 プレセレモニー(フィンランディア演奏合唱付き)

13:00 開会式

13:45 東日本区アワー I

14:25 東日本区アワー II

15:00 **ユースアクション発表**

15:35 理事役員引継式

16:40 **特別プログラム 立川晴の輔師匠 落語会**

18:30 晩餐会(餃子800人前・**高校生開発食品**など)

20:00 閉会

20:15 フェローシップ

6月8日(日)

10:00 日曜礼拝

11:00 エクスカーション2コース宇都宮駅出発

17:00 宇都宮駅帰着予定

登録料 メン・メネット:18,000円 ユース:8,000円

前夜祭 7,000円 フェローシップ 5,000円

最終報